

対象年度	平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート							
事務事業名	市庁舎整備事業						予算事業名	市庁舎建設事業費		
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令		
			02	01	15	11	経常経費			
総合計画体系	5協働で進める持続可能なまちの実現(自治・行財政運営) 5-3情報化社会に対応した行政体制づくり(市民生活・行政・情報 ①行政サービスの充実 3市庁舎の整備推進						事業の区分	主要事業		
							担当課係等	契約管財課 新庁舎建設推進室		
事業期間	継続(平成28年度～平成32年度)									
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】			
まちづくりを担う市民や市議会、行政がお互いに情報を共有・発信ができる、また、市民の利便性が高く、災害時にも安全な市民生活を支えるとともに本市のシンボルとして誇れる庁舎を整備する。							現本庁舎は、老朽化や耐震性の不足、バリアフリー化への未対応、災害時の防災拠点機能などに課題があり、平成24年度から検討を行い結城市庁舎基本構想により新庁舎整備の方針が示され、平成27年度に策定した結城市庁舎整備基本計画に基づき事業を進めている。			
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】			
H29: 実施設計委託 H30～H32: 工事、監理委託 H32: 工事完了 庁舎移転							来庁者、職員			
							【事業をとりまく環境の変化】			
							建設資材の高騰や、作業員の不足などに伴う建設価格の上昇が続いている、計画する事業費内での執行が懸念される。			
【平成31年度 事業内容】				【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】		
工事が適正に進捗するよう監理する。 移転に必要な委託、手続き等を行う。 ■工事費 庁舎本体、外構整備 ■委託費 工事監理、什器移転計画 ■その他				工事完了に向け工事監理を行う。 工事完了に伴う引渡し検査を行う。 移転作業を行う。 ■工事費 庁舎本体、外構整備 ■委託費 工事監理、移転 ■その他						
■事業費										
財 源 内 訳	国 庫 支 出 金			H29年度		H30年度				
	県 支 出 金			0		0				
	地 方 債			99,300		380,100				
	そ の 他			0		0				
	一 般 財 源			34,644		140,072				
	歳 入 計 ( 千 円 )			133,944		520,172				
	節 ( 番 号 + 名 称 )			金額 ( 千円 )		金額 ( 千円 )				
	09 旅費			0		24				
	11 需用費			6		42				
	12 役務費			1,530		1,342				
13 委託料			132,408		15,758					
15 工事請負費			0		502,466					
19 負担金補助及び交付金			0		540					
歳 出 内 訳	歳 出 計 ( 千 円 ) ( A )			133,944		520,172				
	伸 び 率 ( % )					288.35				
	総合計画141ページ 予算書52ページ									
	備 考									

## 平成29年度行政評価シート

### ■指標

種類	指標名	単位	H29年度	H30年度	H31年度
活動指標	業務契約手続き（主要な委託） H29 実施設計 H30 工事監理 オフィス支援 1 H31 オフィス支援 2 移転計画	回	目標 実績	1.00 1.00	2.00 0.00
	工事契約手続き（主要な工事） H30 本体工事 周辺駐車場 H31 外構整備	回	目標 実績	0.00 0.00	2.00 0.00
成果指標	事業の進捗（基本設計、実施設計、工事、移転）	%	目標 実績	40.00 40.00	60.00 0.00
			目標	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00

### ■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	庁舎機能の分散化、施設の老朽化、防災拠点機能等の現庁舎の課題から、市民の安全安心な生活を守るために防災機能を有し、利便性が高く、市のシンボルとして誇れる庁舎整備が求められている。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市が整備する施設である。
	手段の妥当性	A 妥当である	一般的な手法において、設計、工事を執行し事業を進める。
効率性	コストの効率性 ・人員効率	B どちらとも言えない	事業計画に基づき、コストの削減に努める。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	全ての市民に、サービスや災害対策の向上が図られる。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	基本計画に沿う施設の実施設計が完了し、工事発注図書が整った。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	全体スケジュールに沿って事業が進捗している。

総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください

庁舎整備基本計画で定めたスケジュールや事業費に従い着実に事業が進捗している。  
建設価格の上昇が続いているため、入札への影響や、事業費の増加を懸念している。

対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか

設計コストの削減を図り事業費の抑制に努める。  
本体工事の入札結果により、全体事業費を精査し計画の見直しを行う。

### ■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

拡充（人・モノ・カネ等の拡充） 改善改革しながら継続 現状のまま継続（改善・改革なし） 統合・新規事業への展開  
縮小 休止 廃止・終了 予定どおりの要求 一部改善の上要求 今回は見送り その他の処置

改革・改善の具体的な内容（改革案・実行計画）

事業計画に従いコスト管理を行い、市民サービスの向上と、防災拠点の機能を有する庁舎の整備を進める。

2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

拡充（人・モノ・カネ等の拡充） 改善改革しながら継続 現状のまま継続（改善・改革なし） 統合・新規事業への展開  
縮小 休止 廃止・終了 予定どおりの要求 一部改善の上要求 今回は見送り その他の処置

企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）

上記評価のとおり。